

【様式】長崎県内の具体的取組紹介

【学校名】

長崎市立横尾中学校



【取組の概要】

情報化、グローバル化など変化の激しい現代において、予測困難な未来に対応するには、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり、よりよい自分の未来と社会を作り出していくことが重要です。横尾中学校では、学校スローガンを「感動を～多文化共生社会を目指して～」とし、校区内にある長崎外国語大学との連携・交流を通して、生徒が自らの視野を広げ、自分や地域の未来のために行動することを目指しています。

【取組の実際】

横尾中学校では、年間を通じて、長崎外国語大学と連携・交流を行っています。

- 地域の達人講話1「横尾から世界を知ろう」(長崎外国語大学教授より講話)
- 地域の達人講話2「不思議な国 日本・長崎」(長崎市交際交流員より講話、長崎外国語大学学生により同時通訳)
- 長崎外国語大学学生による教育実習、インターンシップ
- 英検対策学習会(長崎外国語大学の教授、学生から支援)



取組を通して、外国のことに興味を持ち、それぞれの文化の違いに気付くことができました。自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じる生徒が増えています。

【メッセージ】

多種多様な人々と関わっていくであろう未来を生き抜いていくためには、より多くの人々と関わり合い、自分や自分を取り巻く地域や日本、世界の未来について考えることで、自ら行動できる人になることが大切です。そのためにも、自分の周りや地域のことに日頃から関心を持ち、視野を広げていきましょう。